

「水問題に関する協議会」第16回幹事会の概要

「水問題に関する協議会」第16回幹事会の会議結果は、次のとおりです。

1 日 時 令和元年5月22日（水）午後2時から午後2時40分まで

2 場 所 愛媛県庁第二別館 6階 大会議室

3 会議の概要

①愛媛県が行った「西条と松山の水問題に対する6つの提案」（以下「県の提案」という。）に対する西条市の回答、②松山市から西条市に対する提案、及び③当該提案に対する西条市の回答が報告されました。

その結果、県の提案への西条市の合意が得られなかったことが最終結論として確認され、愛媛県から、広域調整の役割から降りることを報告しました。

その後、「水問題に関する協議会」の今後の方向性について、意見交換を行いました。

【西条市の報告】

○県の提案について、黒瀬地区住民の思いを考えれば受け入れられない。

○今後は、水環境の改善及び地下水の保全について西条市自らの取組みを進めるとともに、松山市と「湧水緊急時応援協定（仮称）」の締結に向けて同市と具体的な協議を進める。

○（松山市の提案を受けて）「提案1～3」についてはありがたく受け止め、早速協議を行う等していきたいが、「補記」については、分水につながるものであり受け入れることは困難。分水については一区切りが付いた。

【松山市の報告】

○4月16日に、野志市長が玉井市長を訪問して次の提案を実施

- ・提案1 節水等の取組の情報提供について…西条市の今後の地下水保全に向けた取組みの参考になるものとして情報提供する。
- ・提案2 連携・交流協定の締結について…幅広い分野での取組みをより効率的に推進していくため、両市の末永く友好的な交流を図りたい。
- ・提案3 事務レベルによる意見交換について…協定等について、双方の具

体的な協議を進める。

- ・補記 黒瀬ダムを活用…西条市が行う地下水保全の取組みが功を奏したときには、黒瀬ダムの活用を改めて検討いただきたい。

【愛媛県の報告】

- 県の提案に対する西条市の合意が得られなかった等の状況から、愛媛県が広域行政を司る立場化から担ってきた調整の役割から降ろさせていただく。
- 今後は、水問題の解決に向け、まずは西条市・松山市それぞれで議論されるものと思料

【主な意見交換の内容】

「水問題に関する協議会」の今後の方向性について

(松山市)

- 協議会の目的である「加茂川及び黒瀬ダムの水資源を活用した地域の活性化」が達成されていない中、黒瀬ダムからの分水は依然として水資源確保策の一方策と考えていることなどから、協議会は「休止」の形で存続することを希望
- 松山市以外の幹事が協議会の議論に参画しない場合は、なす術はないが、今後必要な状況が来れば、愛媛県に調整の労を取っていただきたい。

(西条市)

- 西条市の現状や県が広域調整の役割から降りることを踏まえると、現在の枠組みでの協議を続けることは困難

(新居浜市)

- 現状を考慮すると、4者協議を継続する環境にはない。
- 将来、再度協議が必要になった場合には、その時点での内容に応じた協議会を新たに検討すべき

(愛媛県)

- 県の提案は、幹事会での議論の積み重ねを基にしたものであり、協議会は水問題の議論の進展に十分役割を果たした。

【会議の結果】

上記意見を踏まえ、事務局で方針案を作成し、協議会を書面か持ち回りで開催した上で、各市の構成員の意見を伺い、決定することとした。